

水稲の生育状況と当面の対策

第 1 報
千葉県農林水産部
平成 21 年 6 月 2 日

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08seisan/nousan/suitou_seiiku/index.html

梅雨どきの低温に注意！

ふさおとめは幼穂形成に注意！

[生育概況]

生育は進み、生育量は旺盛！（「表 1」を参照）

今年は 4 月の移植時期から天候が順調で、生育は進んでいます。

その後、4 月及び 5 月の一時期を除いて気温が高く、葉色が濃くなり、分けつも旺盛となって生育は順調に進んでいます。

表1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品種	植付時期	平年比			
		葉令	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日頃	早い	高い	多い	やや淡い
ふさこがね	4月20日頃	早い	高い	多い	並
コシヒカリ	4月20日頃	やや早い	高い	多い	やや淡い
	5月1日頃	やや早い	高い	多い	やや濃い

※ 平年値は過去 5 年（2004～2008 年）平均値。ただし「ふさこがね」は過去 3 年（2006～2008 年）の平均値。

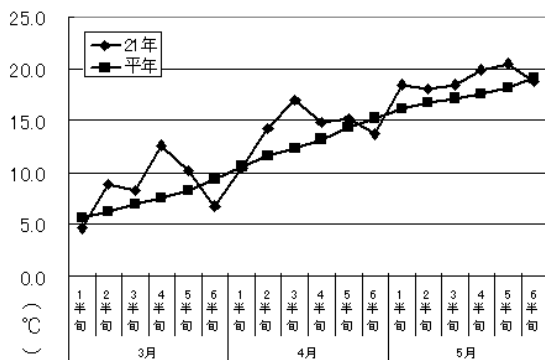


図1 平均気温の推移（佐倉市）

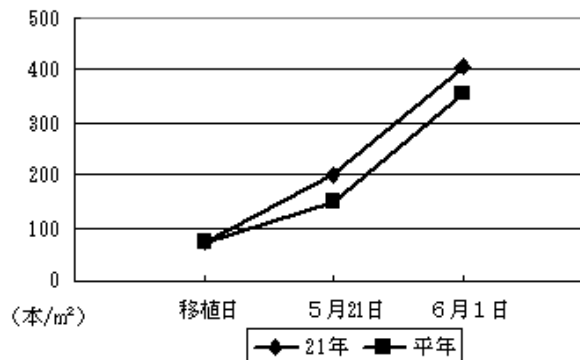


図3 ふさおとめの茎数推移

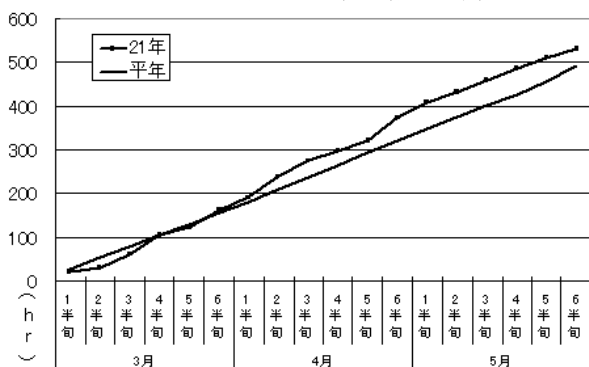


図2 積算日照時間の推移（佐倉市）

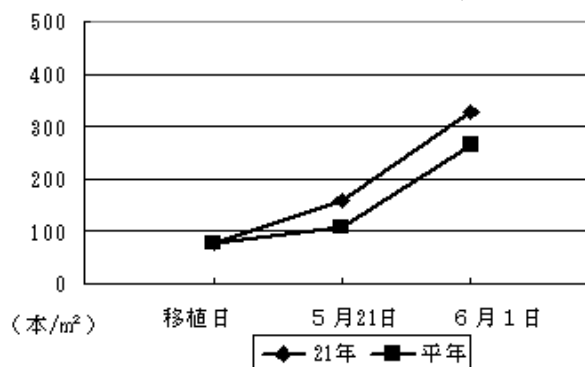


図4 ふさこがねの茎数推移

[これからの管理のポイント]

茎数過多に注意! (「表2」を参照)

今年の茎数は多い傾向にあります。茎数過多は倒伏や玄米品質低下の原因となりやすく、注意が必要です。

茎数は確保されつつあるので、表2の目標茎数が確保されたら速やかに中干しを始めましょう。

※中干しとは

- ・ 中干しは幼穂形成期直前(出穂前25日)頃まで行います。
- ・ 中干しは過繁茂を抑制すると同時に、土壤に酸素を供給して土壤中のガス等の有害物質の発生を抑え、根の活力を高める効果があります。
- ・ 中干しは田面に小さな亀裂が入り、田面を歩いて長靴が沈まない程度まで行います。
- ・ 中干しが強すぎて田面に大きな亀裂が入る水田は、根が切れることもあります。その場合は、かんがい水が田面全体に行き渡る程度の浅水とし、なくなれば水を入れる間断かんがいを行います。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数(本/m ²)		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	460(26本)	460(26本)	430(24本)
ふさこがね	4月20日	—	400(22本)	—
コシヒカリ	4月20日	360(20本)	340(19本)	320(18本)
	5月1日			

※ ()内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

今後の低温に注意!

気象庁5月29日発表の関東甲信地方1か月予報によれば、梅雨期をひかえて向こう1か月は「平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み」です。この時期に、気温が19℃以下になると分けつが抑制され、生育も遅れます。

低温が予想されるときは、深水管理で水温を維持しましょう。

「ふさおとめ」は幼穂を観察し、穂肥に備えましょう! (「表3」「表4」を参照)

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月13日頃から幼穂形成期(幼穂長1mm)を迎える見込みです。穂肥は幼穂形成期から約1週間後の6月20日頃からが適期となります。

穂肥施用時の生育量の目安は表4のとおりです。

※4月15日前後の早植えでは、植え付け後の温暖な気象によって、下表よりさらに進んでいると考えられます。

表3 品種別の幼穂形成期の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測(月日)			
		県北	九十九里	内湾	県南
ふさおとめ	4月20日	6月16日~	6月15日~	6月15日~	6月13日~

※ 「ふさおとめ」「コシヒカリ」は日平均気温に基づく発育段階予測結果、「ふさこがね」は葉令等実測値からの推定による。

表4 品種別の穂肥施用の目安

品種	穂肥施用目標茎数 (本/m ²)			葉色 (カラスケール値)
	砂質	壤質	粘質	
ふさおとめ	570~620 (32~34本)		520~570 (29~32本)	4

※ () 内は 60 株/坪植えの時の 1 株当たり茎数の目安

葉色はさめても中間追肥は行わない！

今後、葉色が低下しても、中間追肥は行わないようにしましょう。この時期の窒素の中間追肥は倒伏を招き、食味・品質・収量や、収穫時の作業性に悪影響を及ぼします。

置き苗を処理しましょう！

いもち病の防除は、まず耕種的防除が肝心です。補植用にほ場の片隅に置いてある苗は、いもち病の発生源になります。速やかに廃棄しましょう。

必ず生産履歴記帳をしましょう！

流通業界や消費者から、いつどのような肥料や農薬を使ったのか等、栽培履歴がわかる米が求められています。消費者に信頼される米づくりのために、必ず生産履歴を記帳しましょう。



図 5 ふさこがね 6月2日 千葉市緑区刈田子